

第78回番組審議委員会議事録

日時：平成30年11月14日（水）13時30分～

場所：富士市民活動センター/コミュニティエフ（富士市吉原2丁目10番20号）

1. 委員総数 11 名
2. 出席委員数 4 名
3. 出席委員の氏名
遠藤芳幸 委員長
和久田恵子 副委員長
村上雅洋 副委員長
青木洋一 委員（順不動）
4. 放送事業者出席者名
小沢教司 常務・山本茂 統括部長

遠藤番組審議委員長：ごあいさつ

皆様ご苦勞様です。今年はこれで最後です。

今日は人数が少ないですが、ご審議の程、よろしくお願いします。

小沢常務取締役：ごあいさつ

皆さん今日もお忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

今日も前回と同じく人数が少ないですが、お越し頂いている皆さんに、

厚く御礼申し上げます。ラジオエフでは10月分の試算表が出て、去年より若干少ない売上となっていますが、来年4月の年度末にかけ、なんとか昨年に近い利益を出せる様、がんばっていききたいと思います。今日も、忌憚のないご意見をよろしくお願いします。

前回のご報告

山本：前回、第77回番組審議委員会で審議した、フレンズ内コーナー

「宅配便 職場で受取る大作戦」のご報告です。

キャンペーンコーナーのご審議をいただきましたが、地球温暖化防止というテーマで放送しているという事で、コンセプトをしっかりと前面に出した番組づくりをというご意見をいただきました。この辺を踏まえ、番組制作者に伝えています。

議事録詳細は、ラジオエフのホームページからご覧頂けます。

どうもありがとうございました。

番組審議

- ・テーマ エフスポーツ内コーナー 「アスリートへのインタビュー」
- ・放送日時 10月16日（火）
（夕方番組 エフスポーツ内10分コーナー 毎週火曜17：03～OA）
- ・出演 radio-fナビゲーター：保科紀子
- ・番組編成制作方針、説明
- ・質疑応答

山本：今回ご審議いただく番組は、以前にも審議した毎週火曜夕方16：30から放送している番組、エフスポーツ内のメインコーナーで「アスリートへのインタビュー」17：03～放送される10分の新コーナーをご審議いただきます。

この10月から、この番組エフスポーツはリニューアルされています。

エフスポーツ自体は、2015年10月に始まり、今年で4年目を迎えます。

主にエフエリア、富士市・富士宮市のスポーツや地元アスリートを応援するという番組で、様々なスポーツ選手をゲストに迎えるなどして放送しています。

メインナビゲーターは保科紀子さん、リニューアル内容としては、より地元のアスリートの声を多く放送したり、スポーツの結果をより事細かに伝えられる様、がんばっています。主なコーナー内容は、地元で行われたスポーツの結果紹介、これから行われる試合や大会情報、スポーツイベントの募集情報、メインコーナーは地元を含むアスリートへのインタビューという番組構成でお送りしています。

今回お聴きいただくのは、10/6に富士総合運動公園陸上競技場で行われた、富士山女子駅伝プレイベント「チームQランニングクリニック」の後に、女子マラソンで有名な高橋尚子さんにナビゲーターの保科紀子さんがインタビューした物です。

「チームQランニングクリニック」は毎年開催されており、高橋尚子さんが富士市にいらっしやって中学生に陸上教室を行っているイベントです。

それではお聞きください。

番組本編

保科：今日は、富士総合運動公園陸上競技場に来ています。毎年行われている富士山女子駅伝開催プレイベント大好評の「チームQランニングクリニック」が今年も盛大に行われました。そこで今日は、講師を務められた、シドニーオリンピック女子マラソン金メダリストの高橋尚子さんにお話を伺います。どうぞよろしくお願いします。

高橋：よろしくお願い致します。

保科：毎年この時期、高橋尚子さんがエフエリアに来てくださるとあって、富士市の中学生達は本当に心待ちにしています。今年も盛大に行われましたが、高橋さんから

ご覧になって、エフエリアの中学生はいかがでしたでしょうか。

高橋：素質がある選手ばかりですね。みんな最初から最後まで3時間という長い時間を、集中力を切らさずに、一言一言を絶対逃すまいと目をキラキラ輝かせ、本当に頑張ったと思います。今日は100名程でしたが、きっとこの中から将来、日の丸を付ける選手が出てきてくれる事がすごく楽しみです。

保科：私もスタンドから拝見し、高橋さんが生徒をすごく褒めてくださる「富士の子はすごい」と、もうそれだけで生徒達は飛び上がるような大喜びだったと思います。

高橋：私自身、小出監督に褒めて伸ばして頂いた、それが嬉しくてもっとがんばろうという思いにさせてもらった事で、褒めることを多くしていますが、そうではなく、富士の選手は全国各地の中学生を回ってクリニックを行う中でも、本当に能力が高いと思います。

保科：高橋尚子さんにそう言って頂けたら、エフエリアに住む子供達もみんな本気でがんばりますね。

高橋：2年後の東京オリンピックまでは時間はありませんが4年後のパリや、その先の日の丸を目指す選手になってもらいたいと思います。

保科：今日参加した子供達に、今日のこの経験をどの様に生かして欲しいでしょうか。

高橋：はい、私もオリンピックに出たりマラソンで世界記録を作ったりしましたがテレビで応援して下さった方も多いと思います。特に子供達はその時代にまだ生まれていなかったお子様も多いと思いますが、今オリンピックや世界陸上をテレビで見る時に「手に届かない存在だなあ」と思って欲しくないと思います。ドラマや映画と言うのは、夢の中の世界で自分の手に届かないと思われがちですが、アスリートというのは、自分が今やっている事を一生懸命やり続ければ、その場所に立てるんだ。自分にも可能性があるんだという事を信じる事で、自分もそうなりたいなあと思ってくれると良いと思います。

保科：今日は中学生にご指導いただきましたが、小・中学生・高校生と、子供時代にどんな風にスポーツと向き合っていたら良いでしょうか。

高橋：とにかく楽しんでもらう事が一番だと思います。楽しむこと、続けること、継続することが一番強くなる為のポイントだと思います。まずはこの時期に色んなスポーツをして、体を鍛え、楽しんでもらう事を中心にしてください。

保科：高橋さんご自身はどの様な子供時代を過ごされましたか。

高橋：私は中学で初めて陸上部を選びましたが、小学校の時はドッジボールをしたり、ザリガニを獲ったり、山にカブトムシを捕りに行く様な、おてんばな子供だったと思います。中学校で陸上を始めましたが、中学・高校とそれほど強い選手ではなく、本当にがんばって市や県で走るという位でしたが、それでも小さな目標や夢を持ち続け、一つずつクリアして行くと、その先にもっともっと大きな目標に変わり、オリンピック、そして世界記録という所につながったと思います。まずは目先の

目標でもいいので、しっかりと目標を持つ事が大切だと思います。

保科：最初から早かった訳ではないというお話、きっと子供達はすごく力をもらったと思います。

高橋：英才教育を受けていないとオリンピックの選手になれないとか強い選手になれないと思われがちですが、決してそうではありません。今から、中学でも高校でもやろうと思って切替えた所から伸びる事が多いと思います。私はマラソンを始めて3年半でオリンピックにたどり着きました。それぐらい、3~4年で自分の人生を変える時間になると思うので、中学・高校だけでなく、このラジオをお聴きの社会人の方でも思い立った時に自分の人生を変えられると思います。

保科：すごい人生ですね。

高橋：そうなんです。高校は3年、大学は4年、短い様でもがんばれば自分の人生を変えられる時間だと思うので、そういった時間を無駄にせず、夢に向かって突き進んで欲しいと思います。

保科：これまでスポーツにまつわるエピソードで一番印象に残っている事がありますか。

高橋：すごくたくさんありますが今日、中学生とランニングクリニックをしたという事で、中学校の時に私も同じように日の丸を付けた選手に教えてもらった言葉があります。それは、練習が終わった後に100mを3本だけ走った事が、日の丸を付けるきっかけになったという物でした。はじめは、嘘だと思いましたが、次の日から私も3本だけ走る様にしました。ただ3本も1週間やれば21本、1ヶ月やれば84本と、中々走れる数ではありません。1本に関しては、0.00001ミリ位しか自分の人生を変えられないかもしれませんが、やり続けていると自分の見える景色はだいぶ変わります。中学生の時に聴いて、現役を終えるまでの23年間、ずっとその3本、プラス10分~20分という練習をやり続けた事で、自分の人生を変えられたと思います。私の経験で良かったなと思う事をこのランニングクリニックに詰め込んでいますが、この中の1つでも皆さんの心にとまり、やり続けてくれれば良いと思います。

保科：私も今日、高橋さんのお言葉がいくつも心にとまり、スポーツだけでなく、学生なら勉強、大人だったら仕事にも共通する様な気がしました。

高橋：ありがとうございます。私自身、中学校の時は色々な事を吸収したいけど、どこから吸収して良いかわからない、欲していた時期でもありましたので、そういった物を受け止める事ができたと思います。私自身、陸上で培って学んだことは、今の新しい世界の中で話す事だったり、様々な役職に就かせて頂く中で、昔の自分に教えられ、勉強させてもらう事も多く感じます。

保科：このスポーツ、苦しい場面もあったと思います。
そんな時、どの様に乗り越えたら良いでしょうか。

高橋：はい、苦しい時や疲れている時というのは、実は一番伸びる時です。苦しいからこそ、新しい殻を破る時に、自分で引いてしまわないで、そこで一步突き進む事を、自分の中で心がけていました。苦しい時、逃げたい時が一番伸びる時。だからこそ、こういう時が来たら、やった！ようやくこの場所に来たんだ！と思うようにガッツポーズで前に突き進む事ができれば、どんどん自分を変えていく事ができると思います。今もそういった気持ちでやる様に、心がけています。

保科：エフエリアの皆さんも是非、苦しい時は、今が一番伸びる時と思って頂けたらと思います。余談ですが、実は私、22年前にアメリカはボルダーのバスの中で高橋さんにお会いしています。

高橋：ボルダーのバスの中ですか！？

保科：その時1年間ボルダーに住んでいて、バスの中で高橋さんに声をかけて頂きました。

高橋：何て声をかけたのですか？

保科：「日本人ですね、留学ですか」と聞かれ、高橋さんに「トレーニングですか」と声をかけると、「そうです」と応えられました。その時、お名前など一切聞きませんでしたが、年齢が私と同じだったので、バスの中で雑談しました。当時はまだ携帯もなく、持ち歩いていたカメラで記念写真を撮影した写真がこちらです。

高橋：えーやだー！？本当にワタシです。うわぁ〜ビックリですね！？

私はこのボルダーのトレーニングで自分の人生を変えさせてもらったと思います。実は2週間程前まで、ボルダーで練習してきました。今でもやはりすごく大切な所なので年間2〜3回、10日間くらい行って必ず練習を積む様にしています。今年は6日間でハーフマラソンに2回出てきました。日本ではハイタッチや応援する事が中心なので、最初から最後まで全力で走ることはできませんが当日、自分で申込み2回走ってきました。

保科：すごい！

高橋：まさに22年前の私の写真がここにあるとは思いませんでした。

保科：この時、高橋さんはまだマラソンをやっていらっしゃらなくて、私は「将来、オリンピックに出てくださいね」とお声掛けしました。そしたら次の年に大阪国際女子マラソンに初出場されて、

高橋：これは96年という事ですね。

保科：そうです。その時に初めてのフルマラソン7位で、名前を聞いていませんでしたが、高橋さんの写真を持っていたので初めてわかりました。その3年後、本当にオリンピックで金メダルを獲られたのでわかりました。

高橋：それはすごい出会いと再会ですね。

保科：ありがとうございます。

高橋：ありがとうございます。写真を今、見せてもらっていますが、若かりし頃のショートカットの私が写っています。後ろにボルダーの雪をかぶった山があり、非常に

自然の中で走っているのが苦しい時でもそういったエネルギーをたくさんもらい乗り越えさせてもらったと思いますし、ボルダーだからこそ、がんばり続けられたと思います。私にとってボルダーは最高の場所ですが、どんな出会いがあるかわからないですね。うれしいです。ありがとうございました。

保科：ありがとうございました。

最後になりますが、ラジオをお聴きの皆さんにメッセージをお願いします。

高橋：このエフエリアというのは、景色が良くて暖かく、食べ物も美味しい。アスリートが育つ全ての条件がそろっている場所だと思います。富士山女子駅伝に来た時も、12/30のお忙しい時に、本当に多くの応援される市民の方々がいます。こういった力をアスリートはたくさん受けています。こういう所だからこそ、日本一・世界一がたくさん育つと思います。是非、皆さんのパワーをアスリートの皆さんに下さい。そして皆さんがこれからも楽しく元気に生活、そして走ることもしていただける様、私自身も応援しております。皆さん、がんばりましょう！

保科：どうもありがとうございます。

今日はシドニーオリンピック女子マラソン金メダリストの高橋尚子さんにお話を伺いました。ありがとうございました。

高橋：ありがとうございました。

約10分後

山本：という事で以上になります。遠藤委員長、ご審議の程よろしくお願いします。

遠藤：今、聴き入りましたがどうでしょう。

青木：素晴らしい。1回しか放送していないでしょう、もったいない。

和久田：せっかく高橋尚子さんですからね。

青木：著作権はありますか？

山本：本人がよろしければ大丈夫だと思います。

遠藤：話が上手いですね、高橋尚子さんは

和久田：上手いですね。慣れていらっしゃいますね。

遠藤：講演なんかも当然やっていらっしゃるのでしょうね。

和久田：やっていると思います。

小沢：マラソンと言えば益田明美さんも上手いですね。

和久田：大変、楽しく聴かせていただきました。今のサプライズエピソードなど、とても良かったと思います。すごいと思いながら聴かせていただきました。強いて1点言うとしたら「チームQランニングクリニック」の中身について、もう少し知れたかったと思います。どんなクリニックをしたのか、チームQを立ち上げたのは高橋さんではないかも知れませんが、その思いなど、アスリート個人へのインタ

ビューとなっているので良いのかもしれませんが、せっかくランニングクリニックにお越しいただいているので、一言アドバイスをいただけると良いと思います。

遠藤：そうですね、このイベント自体をもう少し宣伝して、皆さんにわかる様な内容が含まれているともっと良いですね。

青木：私も見に行った事があります。和久田さんの視点はありませんでした、金メダリストの高橋尚子さんがお話するという事で今回は聴き入りましたが、普段地元のインターハイ選手のインタビューとかはどんな感じだろうその方が親近感が沸くかもしれません。

小沢：日頃、市民体育館など、土日を含め取材に行ってそれを放送しています。

和久田：実際にランニングクリニックを受けた子を取材し感想を聴くのも良いと思います。

遠藤：そうですね。

青木：高橋さんはお話も上手で会話のキャッチボールが出来ていますが、他の選手だとどうか気になります。一般の人では競技はできても話は素人。

遠藤：やはり、実績を残した人の話は聞き入ってしまいます。

一般的に口先だけの話は軽くて入ってこない。

和久田：そうですね。

青木：上手い下手以外にも、奥深さを感じます。

村上：今回の放送内容は 100 点満点に近く、かけ合いも良かった。もう少し聴きたいという様な所が良かった。時間的に長くなく短くもなく丁度良い。内容的に短い時間の中で、得るものはあった。事前に、来週はこんな特集をしますという PR をしておく、さらに興味をもって聴いてもらえる機会が増えると思います。エフスポーツというだけあってスポーツでくくられた番組ではあるが、人生に通じる話で非常に示唆に富んだお話は良いと思う。また、サプライズ部分も良かった。地元アスリートの声という事で、その辺を今後どの様にしていくのか、当然、中・高生が出演されると思いますが、シャイな時期で中々話していただけないという中で、今後どの様に対応されていくかが心配。中高生だと、全国大会への出場もあるので例えば、全国大会へ向けての豊富や、高校総体や全中の中からピックアップした選手に何人か出演してもらい応援、がんばれイベントの様な感じでエフスポーツを続けて行っても面白い。高橋尚子さんがランニングクリニックにいらっしゃいましたが先日、女子水泳の池江璃花子選手や岩崎恭子さんも富士にいらっしゃいました。せっかくこういう方々が来る時にうまく、ラジオエフで大会を通じた取材ができると選手達もただ富士に来て、競技だけして帰るより、何か残してもらえるものがあると思います。今活躍されている選手がせっかくいらっしゃるのだから、この機会を使い、もっとエフエリアに還元、影響をおよぼしてもらえともっとうれしい。

遠藤：池江選手がいらしゃった時は取材されましたか。

山本：番組制作者から詳しくは聞いていませんが、ナビゲーターの保科さんはトレイルランニングという競技をやられたりする関係で、このスポーツ番組を熱心にやられています。池江選手の時も、現場には行っており、岩崎恭子さんの取材をしています。写真を撮って、ラジオエフのフェイスブックに掲載されています。

遠藤：保科さんの声はソフトな声で感じも良い。

和久田：すごく上手です。以前はあせりが感じられましたが、場数を踏んだ為か以前に比べて落ち着いていてお話も上手で聴きやすいと思います。

小沢：元々、順天堂大学でトライアスロンに取り組んでいたそうで、70～80キロくらい平気で走る方です。昼夜を問わず富士山を走るウルトラマウント富士に出場したり、過去富士山女子駅伝の特別番組前には、このコースを自分で試走されています。

村上：なんてすごい人でしょう。

和久田：保科さんは新朗読ですずっと一緒でした。娘さんも朗読コンクールに出場して熱心にやられています。それぐらい知っていますので、上手になったと思います。

小沢：私もそう思います。

青木：MC（司会）が本業ですか？

山本：本業は公文式の塾の先生です。

青木：すごいですね。

山本：すごく熱心にラジオエフに協力してくださいます。

和久田：お子様もすばらしく、ゲーテの詩のコンクールに出場されたり

山本：NHK で入選されています。

村上：これだけ良いコーナーを聴くと、エフスポーツはただのスポーツ番組というより、内容も結果紹介や大会情報より、インタビューを中心としたアスリート向けのメッセージ、例えば、エスパルスのトレーナー向けに体のつくり方をレクチャーしてもらい放送するとか、試合結果も大事だが困ったときの精神的な考え方また、ケガの対処法なども教えてもらえると、番組自体の厚みも増すと思います。お母さん方に聴いてもらい子供へ話したり、先生が聴いて部活で生徒に教えるとか広がりがあると、実際に選手からの言葉を直接聴けなくてもエフエリアに住む子供がもっともっと活躍してもらう楽しみができると思います。

遠藤：その通りだと思います。

このコーナーは BGM が入っていませんが、何か意図はありますか？

山本：ディレクターの意図だとは思いますが。

外で取材・録音していますよという雰囲気を出したのではないのでしょうか。

和久田：スポーツをあつかっている番組はこのエフスポーツのみですか？

山本：基本的にはそうです。

和久田：2020 年にスイスの水泳選手団が富士市へ合宿に来るというのがありますのでこういうチームのご紹介など、なんらかの形で繋がると良いと思います。

遠藤：富士宮市でもスペイン空手チームが合宿予定です。それ以外はないのでしょうか。

村上：先日 1 人の選手がアジアで金メダルを獲ったそうです。今のところ、空手のみです。

近隣だと、御殿場市や小山町がロードレースのゴール地点になっています。

遠藤：今後そういう特集を増やしても良いかもしれません。

和久田：試合の前に情報として知りたいところもある。エフエリアで合宿しているのは
どんなチームでどんな選手がいるのかなど、興味を持つ所。この辺の紹介を。

村上：市の方では、きっと市民の応援を求めていると思います。

和久田：きっとスイスの国旗が配られるでしょうね。

遠藤：水泳も結局空振りしたと聴いています。

しょうがない事ですが 1 つ決まっただけでも良かったと思います。

青木：アルティメット世界大会をやっている関係で、スポーツ的に審判がいません。

セルフジャッジしている状況です。富士市では流行りつつありホテル・旅館業組合
が応援している事もあり富士市でも動き始めつつあります。アルティメットの聖地
として、学校教育にも取り入れていただけるとありがたい。

和久田：富士川河川敷で開催されていますね。

遠藤：まだ盛り上がりはいいませんね。

和久田：人気は低いかもしれません。

青木：ニッチなスポーツであるとは思いますが。

遠藤：コーナーの中に盛んに出てきたボルダーとは何の事でしょうか。

和久田：陸上の高地トレーニングをする場所です。

青木：アメリカです。

遠藤：保科さんは大学時代にこのボルダーでトレーニングしたのでしょうか。

小沢：そうだと思います。

村上：本当にすごい出会いです。

和久田：このエピソードはここでしか聴けない話

遠藤：まだ有名でない高橋さんとの出会いですから、すごいです。

山本：靴でももらっておけばよかったですね。

村上：ボルダーはアメリカコロラド州で人口は 9 万 1000 人程、標高 1620m だそうです。

遠藤：今のみなさんの意見では、エフスポーツはなかなか良い番組だと思います。

小沢：やはり、ご本人がスポーツをやっているという事もあり、ご自分の足で普段から
あちこち取材して歩いているのがこの番組の特徴です。

遠藤：この番組は保科さんに合っているという事です。

山本：ご本人も普段からスポーツ番組をやりたいとおっしゃっていました。

サッカー/ジュビロ磐田の名波浩監督とも面識があり、以前にインタビューを放送し
ています。

青木：人脈もすごい。

和久田：フル活用で良いと思います。

村上：富士市出身の川口能活選手が引退しましたが、是非、アスリートの1人としてラジオエフに出演していただきたいですね。

山本：そうですね。

遠藤：川口選手良いですね。

和久田：富士市にゆかりが深いですね。

遠藤：他にご意見ありますでしょうか。ない様でしたらお時間となりましたのでこの辺で。

山本：どうもありがとうございました。他にこの番組以外で何かご意見があればどうぞ。

和久田：12/30の富士山女子駅伝当日は何か放送しますか？

山本：駅伝中継番組は権利の関係もあり難しいですが例年通り、特別番組枠を放送予定です。今年は日曜日という事もあり、放送内容に関しては今検討中です。

和久田：富士山女子駅伝をこれから盛り上げていきたいですね。

道路に大勢の応援がでている所を走るとそうでない所を走るのでは違う。

市民の全員がみんなで認知してみんなで盛り上げていきたい。できるだけ長く、富士市・富士宮市で開催していただきたいと思います。

遠藤：そうですね。

山本：後は晴れて欲しいですね。

小沢：去年の富士山女子駅伝は晴れて富士山も良く見えたと思います。

最後に

小沢：今日も貴重なご意見をありがとうございます。

次回の番組審議委員会は来年2月13日（水）13：30からです。

現在12/30（日）富士山女子駅伝特別番組の放送に向け、営業部がスポンサー集めにがんばっております。昨年からのたまたま、ラジオエフの前を走るコースに変更された為、今年はテレビに映るかもしれません。

本日はどうもありがとうございました。